

三井住友海上火災保険株式会社

【分野】 **道路** / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

ドラレコ・ロードマネージャーによる道路維持管理の効率化

【手法】 コンセッション / **その他のPFI** / 包括的民間委託 / その他（ ）

当社は、ドライブレコーダーで撮影した日本全国の道路損傷をAIで検知・分析し、クラウド上で一元管理するサービスを提供しています。これにより、道路の点検・管理業務の効率化を図ります。自治体のデジタルトランスフォーメーションを推進し、SDGs達成と安全なまちづくりに貢献することを目指しています。

①提案によって解決する地方公共団体が抱える課題イメージ

【解決する課題】

- ・高齢化/人口減少が進む中、日常的な道路のメンテナンス業務の担い手は減少しており、各自治体の維持管理予算も縮小傾向である一方、耐用年数を超えて運用を続ける道路は拡大傾向にあり、路面の損傷が原因となった交通事故や訴訟トラブルに発展する事例も増えている、といった地域課題

【想定する自治体規模】

- ・規模に関係なく、全国の自治体さまにご利用いただくことが可能

②提案の概要

ご提案サービスの概要を以下の3STEPに分けて記載致します。

Step1：全国の様々な企業の車両に搭載された三井住友海上のドライブレコーダーより、道路損傷データを収集

Step2：過去5年間にわたり東京大学で開発したAI技術で、道路の損傷箇所を高精度に検出

Step3：AIが検出した損傷箇所をマップ上で「可視化」し、パソコン上で一元管理が可能

【本サービスの優位点】

全国5万台の一般車両から得られるビッグデータと、収集された道路損傷を画像で確認が出来る、という点が他社にはない優位点です。これにより、従来は路面状態を確認するために自治体等による定期的な目視点検が必要でしたが、本サービスによって自動的に路面状態を把握することが可能となるため、メンテナンス業務に係る業務負荷を低減化し、危険な損傷の早期発見によって道路品質の維持・交通事故の削減を実現します

- 市民通報を起点とした維持補修から、データを起点とする効率的で高品質な維持補修へ
- 勤と経験へ大きく依存した業務を少しずつ変え、データに基づく意思決定により担い手不足を解消



サービスの特徴

- 特徴① 民間企業との「共助」による圧倒的なデータ量
- 特徴② 画像（パソコン上）で損傷状況を確認できる
- 特徴③ 生活道路も含めた広域な道路のデータ分析

③課題解決のイメージ・効果

【効果（定性）】

- ・自治体：日常巡視業務の効率化
- ・地域企業：当社ドライブレコーダーを搭載することによって、地域の道路点検を支援し地域貢献
- ・地域住民：道路管理の行き届いた事故のない安全な街に暮らせる

【効果（定量）】

- ・関東地方のH市様では、年間約400万円に相当する業務効率化を実現

その他

- ・サービス概要は以下の当社HPに記載がございますのでご確認ください。（サービス紹介動画あり）
<https://www.ms-ins.com/business/dr-roadmanager/>
- ・なお、導入される自治体さまの人口規模や道路延長、およびデータ収集・閲覧期間によって費用が異なります